

競技者注意事項

1. 競技規則について

本大会は2026年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定に準じて行う。

2. 招集について

(1) 点呼は招集所において用紙に自分で○印をつけ、出場の意思表示を行う。

招集時刻にトラック競技、フィールド競技ともに100mスタート後方の所定場所に集合し
最終点呼を受けること。

(最終点呼はトラックが競技開始15分前、フィールド競技が競技開始時刻の20分前)

(2) 最終点呼に遅れた場合は競技に出場出来ないことがあるので注意すること。

(3) 2種目以上に出場する選手は監督がその旨を競技者係に申し出て競技進行に支障のないように配慮すること。

(4) 選手集合場所から試合場に移動するときは係員の指示に従って規律ある行動をすること。

(5) リレー競技者はオーダー用紙提出をもって完了する。

オーダー用紙は競技者係より受け取り、走順等の記入後に大会本部まで提出する。

小樽後志陸上競技協会ホームページ内でダウンロードも可能。

特に5.6年混合4×100mRは最初の種目になるので事前に記入しておくのを推奨する。

オーダー用紙の提出期限は競技開始1時間前とする。提出期限を過ぎたものは欠場とみなす。

(6) オーダー用紙は男子・男女混合リレーは黒書き、**女子は朱書きで記載**すること。

記載方法は選手名はプログラム記載順に、決勝の欄に組・レーン・走順を記載すること。

(7) **棒高跳のみ競技者係で一時点呼を受けた後、競技開始50分前までに競技場所に直接集合する。**

(8) フィールド競技は競技時間は天候によって変更になる場合もある。

3. 服装について

(1) アスリートビブスは胸・背部にしっかりと安全ピンなどで止めること。(安全ピンは各自で用意すること)

ただし、跳躍競技は旨・背中どちらか一方のみにつけても出場しても構わない。

(2) 男女ともに競技にふさわしい服装で競技に臨むこと。

(3) スパイクシューズを使用する場合は9mm以下の全天候型陸上競技専用のピンを使用する。

(4) 腰ナンバーは各自で用意すること。ない場合は1～9レーン分を1セット700円で斡旋する。

※10レーン以降は主催者側で用意する。

リレー種目における腰ナンバーは第4走者のみ貼付すること。

4. 練習会場等について

(1) 競技場内での練習は指定区域で行い競技役員の指示に従うこと。特に投擲種目では公開練習で行うこと。

(2) トラックは周回競技(800m, 1500m, 4×100mR)以外の競技が行われている時はバックストレートを開放する。

(周回競技開始前に速やかにレーンから出ること)

5. トラック競技について

(1) スタートはイングリッシュコールとし、同じ競技者が2回不正スタートをしたときその競技者は失格となる。

(2) 短距離種目では競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。

(リレー種目はバトン受け渡し後、出発係によって安全が確認されたらレーンから出ること)

(3) リレー種目ではバトンパスが終わったら自分のレーンのマーキングテープを外すこと。

尚、マーキングテープは主催者側で用意する。

(4) **4年男子及び4～6年女子800mはセパレートスタートとする。**

3年男女800mはオープンスタートとする。

6. フィールド競技について

(1) フィールド競技の試技は3回とする。ただし、コンバインド種目については2回までとする。

(コンバインド種目の走高跳は一つの高さに対して試技は2回とする)

(2) 走高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

(ただし、当日の天候などにより跳躍審判員の指示で変更もある)

男子 1m05 1m10 1m15 1m20 1m25 1m30 以下3cm

女子 1m00 1m05 1m10 1m15 1m20 1m25 以下3cm

※尚、練習では男女ともに90cmとする。

走高跳で同記録且つ無効試技回数も同一の場合は追加試技(ジャンプオフ)を行う。但し、2位以下は行わない。

(3) 棒高跳のバーの上げ方は跳躍審判員の判断で決定する。

(4) Jボール投及びジャベリックスローについては助走距離を15m以内とし、投げる方向はやり投と同じルールで行う。

7. 競技場の入退場について

(1) 競技場への入場は係員の誘導に従うこと。競技者・競技役員以外は立ち入ることはできない。

(2) 写真判定塔の前を通過しないこと。また、競技以外でフィニッシュラインを通過しないこと。

(3) 表彰式は行わず、各自本部2階の所定の場所へ取りに行くこと。

※取り忘れの場合は郵送等の措置は行わないので必ず取りに来ること。

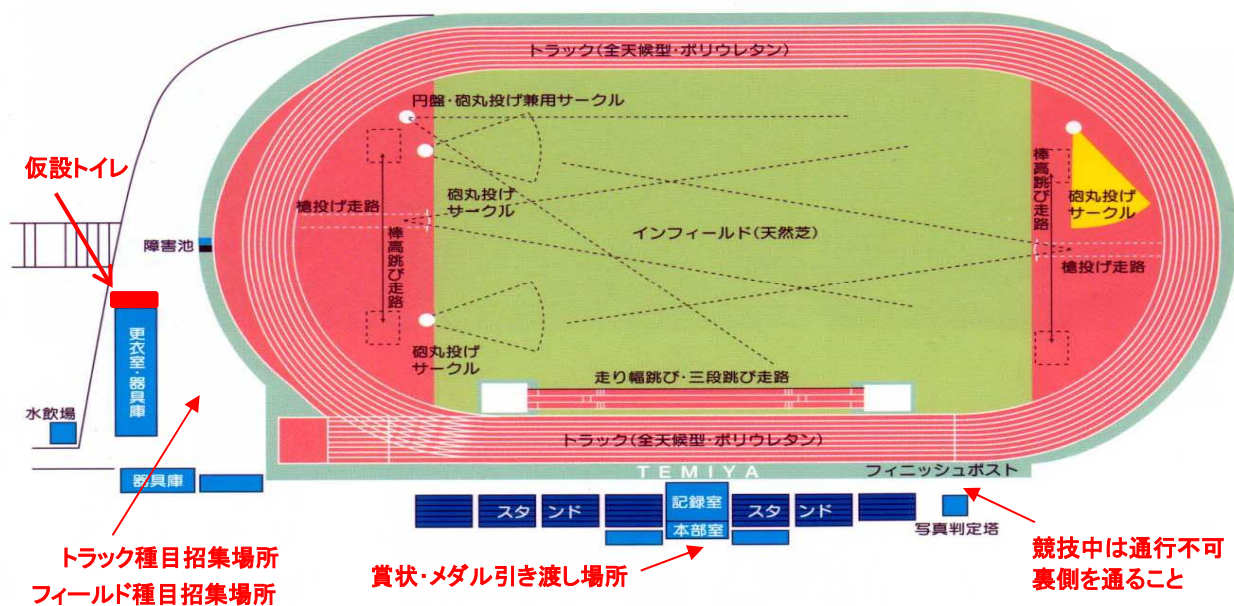
8.観戦について

- (1)望遠レンズを使っの撮影は禁止する。
- (2)日本陸連迷惑撮影対策活動により競技役員撮影内容に確認をする場合がある。
- (3)競技開始以降は選手及び競技役員以外がトラック及びフィールドに入場しないこと。
競技役員が認めた場合のみ、入場を認める。(ウォーミングアップ及び公開練習はその限りではない)

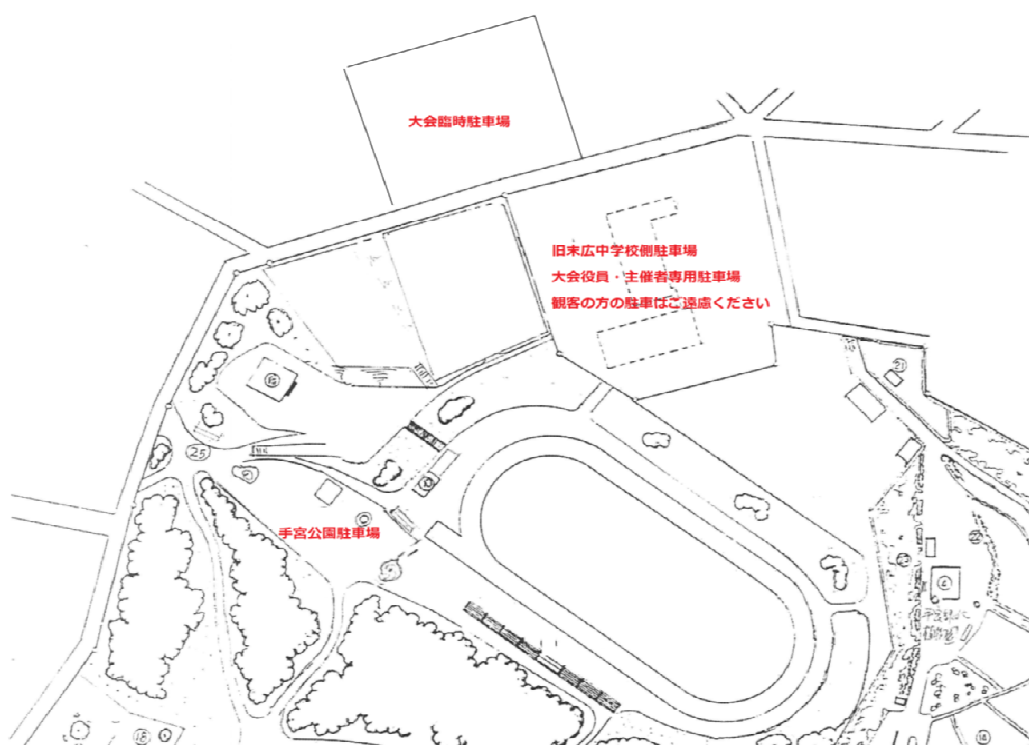
9. その他

- (1)スパイクシューズを利用する場合は全天候型の9mm以下(走高跳12mm以下)とする。
靴底の厚さは20mm以内とする。(砲丸投を除く)
ただし、小学生は日本陸連規則内シューズ規定(2020年度改定・第143条 TR5.13.3)競技用靴に関してはルール適用外とする。
- (1)ごみの処理についてはすべて持ち帰ること。
- (2)貴重品の管理は各チームごと責任をもって行うこと。
紛失物については競技会中は本部2階アナウンス席にて管理するが競技会終了後は大会本部にて管理する。
- (3)競技場内は禁煙(電子タバコ含む)なので喫煙は競技場外ですること。

10.競技場内案内図



11.駐車場案内図



※路上駐車はくれぐれもお止めください! (例年警察に通報が入っております)

12.第44回北海道小学生陸上競技大会について

- (1)本大会(小学支部大会)で4年生の100m及び800mと5・6年生のトラック競技個人種目で3位まで フィールド競技種目で2位まで コンバインド種目で2位までに入賞した選手、5・6年生のリレー種目で2位までに入賞したチームは 第44回北海道小学生陸上競技大会(以下全道大会)の出場資格を得られる。
- (2)令和8年(2026年)4月2日から全道大会申込締切日までに公認競技会において下記の全道大会参加標準記録を突破した選手も 全道大会の出場権を得られる。
- ※コンバインド種目についてはそれぞれの2 種目において全道大会参加標準記録を突破した選手にも別途参加資格を与える。
- (3)全道大会への出場については「個人種目1種目+リレー種目1種目」までの出場制限があるので個人種目またはリレー種目において 2種目の出場権を得た場合、1種目を辞退すること。また、出場辞退が出た場合でも繰り上げての出場資格を得ることが出来ない。

13.加入団体及び選手登録について

- (1)全道大会及び全国小学生交流大会(以下全国大会)に出場する5・6年の選手は出場種目に関わらず、日本陸上競技盟登録が必須となる。
- (2)登録は日本陸上競技連盟会員登録サイト(Jaaf-Start)にて個人または加入団体経由で行う。
- (3)加入団体経由での登録の場合、団体内で日本陸上競技連盟公認審判員と公認コーチ資格の保持者が1名以上登録していることが条件となる。
- (4)個人登録の場合は小樽後志陸上競技協会で登録することになる。ただし、全道大会についてはチーム名での参加も認める。
- (5)全道大会出場者の登録締切は全道大会の申込締切の1週間前までとする。全道大会出場を辞退する場合は締切前までに出場辞退の旨を 小樽後志陸上競技協会普及委員までに報告すること(osrkfukyu@gmail.com)

14.全道大会参加標準記録

種目	4年男子	4年女子	5年男子	6年男子	5年女子	6年女子
100m	15.30	15.60	14.50	13.70	14.80	14.00
800m	2:50.00	3:00.00	-	-	2:50.00	2:41.00
1500m	-	-	5:20.00	5:10.00	-	-
80mH	-	-	15.70	14.50	16.20	15.50
4×100mR	-	-	1:01.00	56.00	1:02.50	58.50
走高跳	-	-	1m15	1m25	1m10	1m23
走幅跳	-	-	4m00	4m50	3m80	4m10
砲丸投	-	-	-	8m50	-	6m50
Jボール投	-	-	38m00	46m00	30m00	38m00
男女混合4×100mR	57.60					